あなたの知らないシェアリングエコノミーの世界

2021年12月15日（水）

標準化カフェ

一般財団法人日本規格協会

システム系規格開発ユニット

遠藤智之

今日のアジェンダ

- シェリングエコノミーの魅力
- シェリングエコノミー × 国際標準化

自己紹介

一般財団法人 日本規格協会

システム系規格開発ユニット

遠藤　智之

国際及び国内の国際標準化をサポート，主に社会システム分野，サービス分野を担当

国際担当委員会：

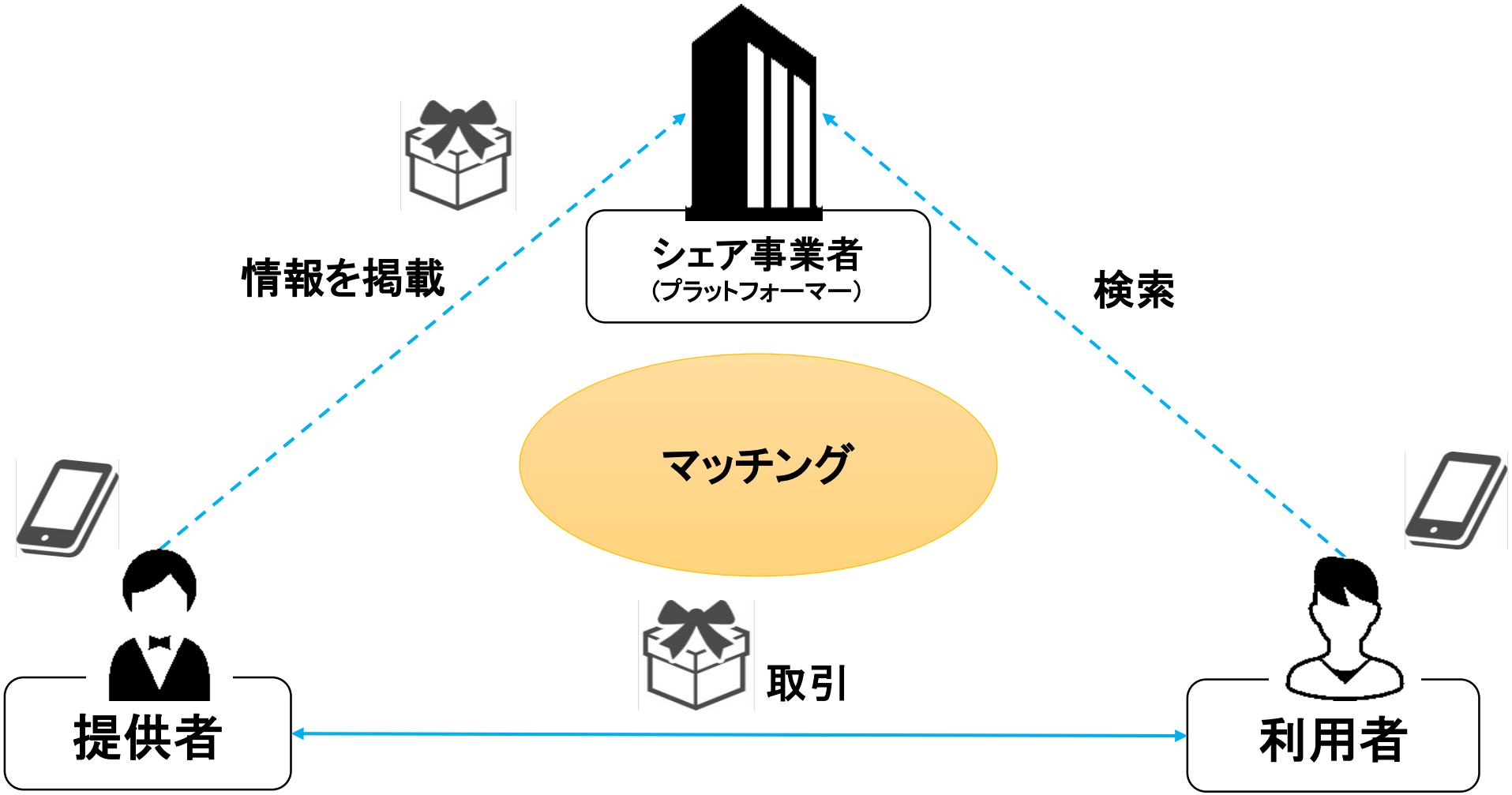
ISO/TC 69（統計的方法の適用）SC　国際幹事（～2018）
ISO/TC 312 （エクセレンスサービス）WGセクレタリー
ISO/TC 20/SC 16 （無人航空機システム）WGセクタリー
ISO/TC 324 （シェリングエコノミー）国際幹事
IWA 39　国際幹事

国内：　上記委員会事務局

シェリングエコノミーとは

インターネットを介して個人と個人・企業等の間でモノ・場所・技能などを売買・貸し借りする等の経済モデル

シェアリングエコノミーのモデル



参考：領域マップ

空間

民泊、部屋貸しなど空きスペースを貸し借りする

airbnb, SPACEMARKET, ADDress, Spacee, PARKING, MONOOQ, CATALU, coin space, echo cloak, KCC, エーヨ!, 場所とる.com, landcamp, PERSON THE, LIFULL, minikura, smet, SHARE MARU, sora share, everywhere venues, トイレンタル, HALTO, エアトリ民泊, DeliEats, YACYBER

移動

移動ツールの貸し借りや共同で移動を実現する

Anyca, UBER, motteco, AINORY, Aracan, DOUZO, nearMe., LUUP

スキル

スキルや労働力などを売り買いする

As-Mama Inc., coconala, Crowd Works, aini, タスカジ, ストアカ, ANYTIMES, DogHuggy, REQU, Lancers, eats, KIDSNA, LOCOTABI, SHARE DINE, Timee, ビザスク, TIME TICKET, 助太刀, アエルズ, SAGOJO, Runtrip, CareFinder, CaSy, Shotworks, LiveDeli, airKitchen, MY TRAINERS, SKIMA, smartsitter, WOW U, なでしこナース, zens home, キッカケ, サカスク, プロの副業, マチマチ, FIRST NURSE, Smartthon, akrak, goodtiming, OurPhoto, STYLISTE, Co-Step inc., taskell, pato, Twidy, おたすけマン, サイリル, DIAGO, MOLE inc., Cycle, visit, knowhap, careena, SHOP STOP, ソトリスト, LOVEけあ, キャリカツ, スキルクラウド, lotsful, Minnano share, Spready, PTNA

お金

社会的な企画や物作りにお金を出し合う

Makuake, Crowd Realty, FARM Sports Funding, GIVE GIVE

モノ

使っていないモノなどを売買・貸し借りする

Laxus, TABETE, Share-Sailing, AGL, Anyble, アイカサ, naturacart, DP, keycafe, RIXTA, minne, CO-LABO MAKER, モバオク!, HonYeah!, Quotta, Portl, RENCA, modha, Casié, Sharing FACTORY, TOKE MATCH, CLASC, 自然電力

*シェアリングエコノミー協会　領域マップより

シェリングエコノミーの活用により地域課題の解決

天塩町

コストシェア型の「相乗り」マッチングサービスを導入し，住民相互の助け合いにより，地域住民の足を確保

横瀬町

廃校などの遊休施設の活用や町民による体験ツアー実施，交流人口の拡大,稼ぐ機会の創出，町の認知度向上につなげる

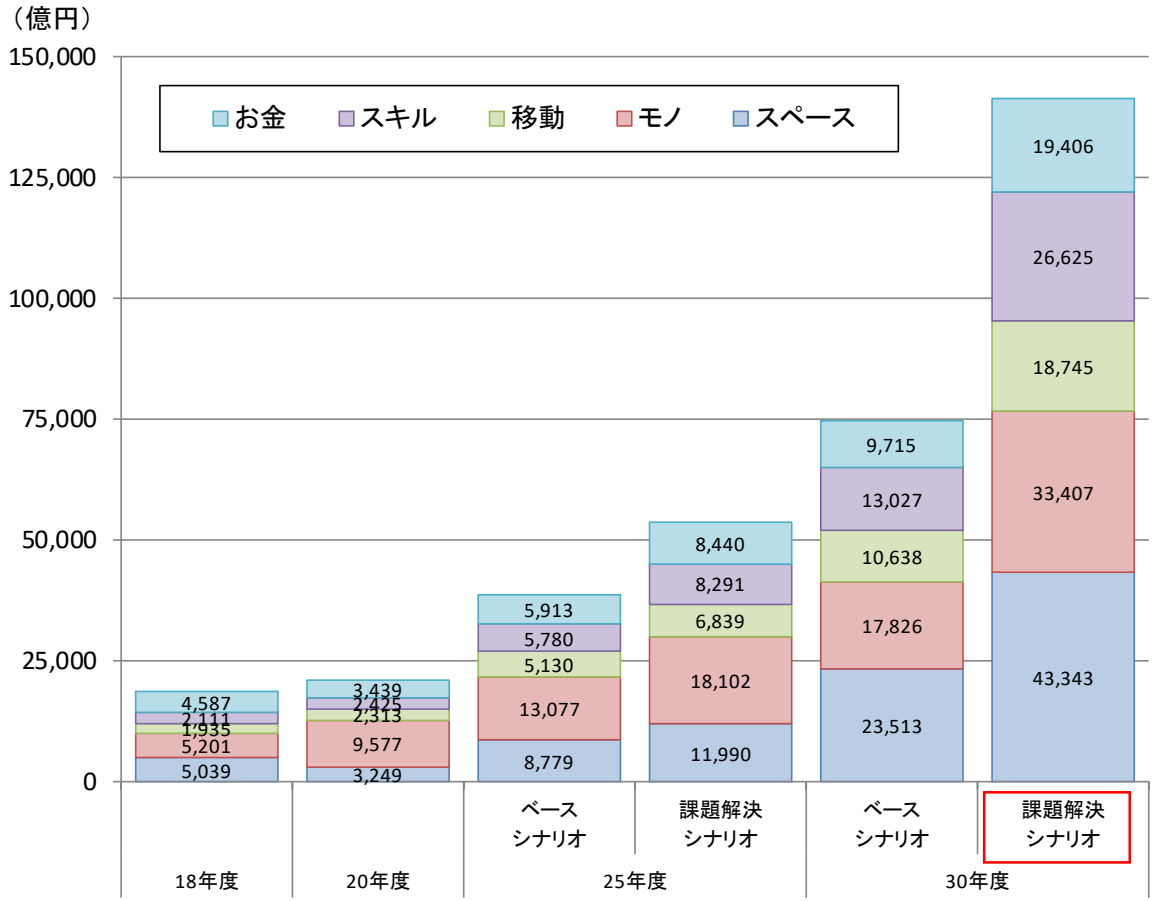
横浜市

フードシェアリングサービス「TABETE」と横浜市の協働により，食品ロス削減を図る

＊シェア日本100より

シェアリングエコノミーの市場は急速に成長を続けている

- 20年度 市場規模: 2兆1,004億円
- 30年度 市場規模:現状のペース:7兆7,589億円, **課題解決シナリオ***:14兆1,526億円



*株式会社 情報通信総合研究所シェアリングエコノミー関連調査2020年度調査結果より

安心，安全に向けた国内の動き

■ 2016年11月，内閣官房IT総合戦略室，“モデルガイドライン”を策定

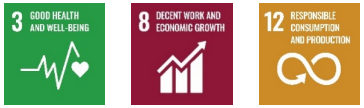
■ モデルガイドラインの基本原則

ア 安全であること

イ 信頼・信用の見える化

ウ 責任分担の明確化による価値共創

エ 持続可能性の向上



■ シェアが遵守すべき事項

登録事項，利用規約の整備，サービスの質の誤解を現実措置，事後評価，トラブル防止及び相談窓口，情報セキュリティ

本日のアジェンダ

- シェリングエコノミーの魅力
- シェリングエコノミー×国際標準化

ISO/TC 324が日本提案により設置

TECHNICAL COMMITTEES

ISO/TC 324
Sharing economy

ABOUT

SECRETARIAT: JISC

Committee Manager: Mr Tomoyuki Endo

Chairperson (until end 2024): Dr Masaaki Mochimaru

ISO Technical Programme Manager [TPM]: Ms Monica Ibido
ISO Editorial Manager [EM]: Ms Christelle Gansonre

Creation date: 2019

*ISO HPより

シェアサービス、安全利用へ国際規格 トラブル相次ぎ

経済 ＋フォローする

2019年6月13日 20:00

保存済み

モノやサービスを相互利用するシェアリングエコノミーについて、国際規格を作る動きが始まった。13日、国際標準化機構（ISO）が都内で国際規格を作る会議を初めて開いた。シェアサービスを巡ってはインターネットを通じた個人間取引のトラブルなどが少なくないため、安心して利用できる枠組みを作る。会議は日本が幹事国を務める。ルール作りで主導権を握ることができるかどうかも焦点だ。

会議は14日まで開かれる。米国や中国、フランスなど日本を含め8カ国の当局担当者や専門家が出席し、海外の消費者団体なども参加している。

国際標準化機構が開催したシェアリングエコノミーの規格に関する会議（13日、東京都港区）

国際規格が求められているのは、世界中でシェアサービスのトラブルが相次いでいるためだ。中国のライドシェア大手、滴滴出行では2018年、運転手が利用者を殺害する事件が2件発生した。民泊でも、サイトに掲載された写真と実際の部屋が大きく違っていたり、事前に示した料金とは異なる金額を請求されたりするケースがあった。

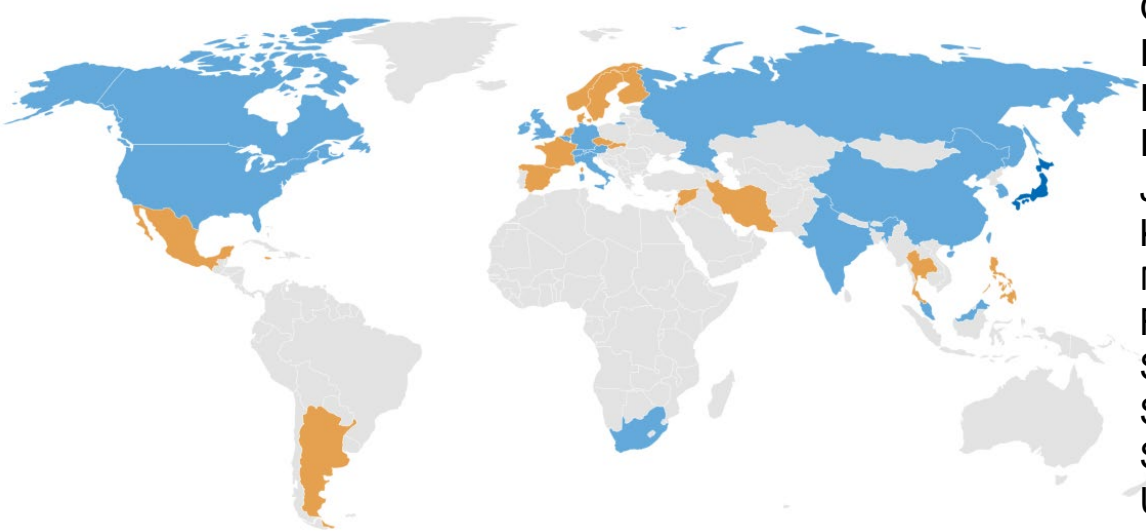
*日経新聞（2019年6月13日）より

第1回会議を東京で開催

35か国がISO/TC 324に加盟

Participating members : 17

Observing members: 18



P – member (17)

Austria (ASI)
Belgium (NBN)
Canada (SCC)
China (SAC)
Germany (DIN)
India (BIS)
Ireland (NSAI)
Italy (UNI)
Japan (JISC)
Korea, Republic of (KATS)
Malaysia (DSM)
Russian Federation (GOST R)
Singapore (SSC)
South Africa (SABS)
Switzerland (SNV)
United Kingdom(BSI)
United States (ANSI)

O- member (18)

Argentina (IRAM)
Barbados (BNSI)
Czech Republic (UNMZ)
Denmark (DS)
Finland (SFS)
France(AFNOR)
Israel (SII)
Jamaica (BSJ)
Mexico (DGN)
Netherlands (NEN)
Norway (SN)
Philippines (BPS)
Slovakia (UNMS SR)
Spain (UNE)
Sweden (SIS)
Syrian Arab Republic (SASMO)
Thailand (TISI)

*ISO HPより

ISO/TC 324　組織体制

ISO/TC 324

議長：Masaaki Mochimaru
国際幹事：Tomoyuki Endo

- **WG1** 用語・原則
  主査：Kernaghan Webb
- **WG2** プラットフォームの運用
  主査：Kentaro Watanabe
- **WG3** 提供者の検証
  主査：Jack Yao
- **TG1** 戦略事業プラン
  主査：Tomoyuki Endo
- **TG2** コミュニケーションプラン
  主査：　Jack Yao
  副主査：Joseph Maar

現在のプロジェクト

規格番号	タイトル	ステータス
ISO 42500	General principles	発行
ISO/TS 42501	**General trustworthiness and safety requirements for digital platform**	**WD開発中 （日本提案）**
ISO/TS 42502	Guidelines for provider verification on digital platform	WD開発中 （中国提案）

関連する国際標準

TC	文書	タイトル
ISO/TC 176/SC 3 (Supporting technologies)	ISO/DIS 10008	Quality management — Customer satisfaction — Guidance for business-to-consumer electronic commerce transactions
ISO/TC 321 (E-Commerce)	ISO/CD 32111	Transaction assurance in E-commerce — Principles and Framework
ISO/TC 323 (Circular economy)	ISO/WD 59004	Circular economy —Terminology, principles and framework for implementation
ISO/PC 335	-	Guidelines for organizations to increase consumer understanding of online terms and conditions
ISO/TC 228 (Tourism and related services)	ISO/NP 9468	Tourism and related services — Online travel agency (OTA) — Guidelines for online accommodation booking platform services
ISO/TC 260/AHG (Flexible work in the gig economy)		
	IWA 40	Guidelines for cloud kitchen services
	..	

参考情報

■ ISO/TC 324 最新情報

■ 「シェリングエコノミーって？」
（標準化知ってもらい隊）